

製品名: Bid ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00175**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 22 kDa; Observed MW: 22 kDa

抗原情報

遺伝子名	BID
別名	FP497; MGC15319; MGC42355; BID
遺伝子 ID	637
SwissProt ID	P55957
免疫原	ヒト Bid の合成ペプチド

背景

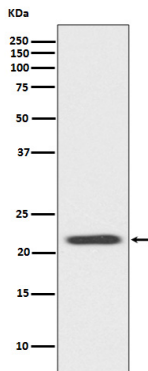
主要なタンパク質分解産物である p15 BID は、シトクロム c の放出を促進する（類似性による）。アイソフォーム 1、アイソフォーム

2、およびアイソフォーム 4 は、ICE 様プロテアーゼとアポトーシスを誘導する。アイソフォーム 3 はアポトーシスを誘導しない。Bcl-2 の保護効果を打ち消す。

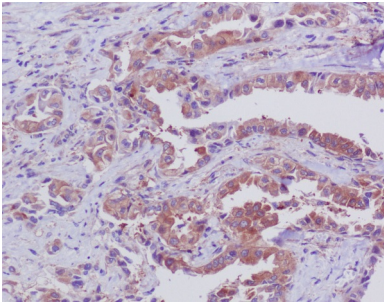
研究分野

細胞生物学

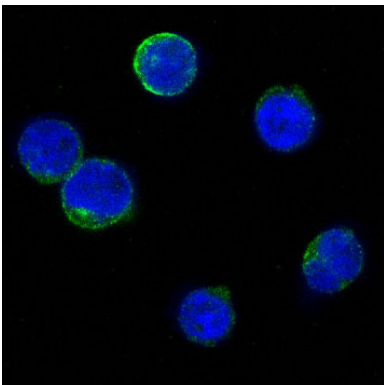
画像データ



Bid 抗体を使用した Jurkat 溶解物中の Bid のウェスタン ブロット分析。



Bid 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高压高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



Bid 抗体を使用した Jurkat における Bid の免疫蛍光分析。